



僕の季節だ！
『読書の秋』

としょえもん

学校図書館サポートだより 第2号（通巻6号）



データベース化作業が進行中です

八王子市教育センター
統括指導主事 蔵重 佳治

期待される効果

文部科学省の調査によると、全国の公立小中学校図書館における蔵書のデータベース化状況は小学校 51.2%、中学校 50.7%とのことです（22年5月現在）。本市でも全小中学校対象のデータ入力作業が7月から始まり、作業班7チームが、1校あたり10日間から2週間のペースで作業を進めています。9月末現在、107校中45校で作業が終了しており（42%）、2月末までに全校が完了予定です。

この作業を契機として、各校で蔵書の点検・選別が進められ、配架の適正化や工夫が促進されるものと期待しております。また、3月に市立図書館との蔵書検索オンライン化が図られれば、図書資料の検索機能が大幅に向上し、児童生徒の図書館活用がこれまで以上に活発になるものと考えております。



データベース
作業中の棚

NEWS

広報紙『としょえもん』や研修会の予定等、教育センター学校図書館担当の業務にかかわる内容が『八王子市』ホームページの中にアップされました。是非ご覧ください。

これからの課題

去る8月18日、教育センターにおいて、作業を担当する業者の責任者と、それまでの作業進行上で生じている課題について意見交換を行い、その善後策を協議して学校関係者にもお知らせしたところです。

学校図書館には、新旧取り混ぜて様々な種類の蔵書が蓄積されています。その中には児童生徒がよく手に取る人気の本もあれば、人気とは関係なく備え付けておかなければならない本もあります。こうした蔵書をデータ化するものとし、しないものに選別することは、とても大事な作業です。また、こうして選別された蔵書を書架に利用しやすく整理することや、データ化されなかった本でも、学級文庫等で再活用するものと廃棄するものに再選別することも検討課題になると思います。

今回の作業は、学校図書館システム化の第一歩と考えております。学校および関係者の今後の一層の御協力をお願い申し上げます。

学校図書館担当では相談日を開設しています

今年度、学校図書館担当では重点校への巡回支援のほかに、教育センターでの相談日を開設しています。学校図書館の整備や、ボランティアの活動支援などのご相談をお受けします。申し込みは学校を通してお願いします。開設日や申し込み方法についての問い合わせは教育センター学校図書館担当まで。

電話：664-1135 / ファックス：662-2988

夏期パワーアップ研修会(7月26日)



「学校図書館を活用した調べ学習の実践」

今年も、学校図書館担当が企画・運営するパワーアップ研修を市中央図書館を会場に実施しました。昨年希望する先生が多かったので定員を倍増、39名の先生方が参加。講師は昨年に引き続き「調の森」の蔵元和子先生。「学校図書館を活用した調べ学習の実践」をテーマに講義・演習と、実践を重視した実習方式で進められました。

演習はテーマを選ぶところから始まり、実際に資料となる本を図書館内で探し、それを使って各自画用紙一枚にまとめました。最後に互いの作品を見合い、研修を終了しました。先生方からは「今までどう指導したらいいかわからなかった調べ学習の進め方・順序がよく分かった。」「教わる立場になり、子どもが何に困り、どこでつまづくのかなど、子どもの気持ちがわかった。」「集中して楽しく取り組み、2学期からさっそく取り入れたい。」などの感想をいただきました。先生方、がんばってください。



付箋を活用して
情報収集



蔵元 和子 先生



手際よくまとめられた作品



第2回 司書教諭研修会(9月9日)

「学校図書館を活用した授業作り」

出席された先生は83名(出席率78%)。公立学校での教諭を経て現在、帝京大学の文学部及び教職大学院准教授の鎌田和宏先生に講師をお願いし、上記のテーマでお話していただきました。ポイントは「**情報リテラシーの育成**」。ご自身の指導経験に基づいた具体的なお話や、日本各地の先進的に図書館活用をしている学校の、実践事例を紹介していただきました。

「自分の学校の図書館はどんな図書館？」

「本の倉庫(鍵がかかっている。お化けが出そう)になっている」

「時々、本を借りにくる人がいる」

「定期的に読書指導(読書の時間・読書週間)に使われる」

「人がいて、子どもがよく通う」

「授業でよく使われる」

「学習情報センターとなっている」

講師より『学校図書館の役割は、』というお話がありました。

キーワードは、教育課程・指導計画の整備、図書館の環境整備、適切な蔵書・資料の用意、児童・生徒へのオリエンテーション、校内指導体制の構築、日常的な読書指導などでしょうか。

参加された先生方からは、「先進校の事例(動画)を見ることができ、イメージも持てて、分かりやすい研修でした」「具体的な学校図書館の利用法を示してくれたのがよかった」「読書教育・学校図書館の充実がもたらす生徒の成長を実感した」

などのお声をいただきました。



真剣に聞き入る先生方

学校図書館 活用重点校紹介～その2～



平成23年度重点校24校の図書館を順番にご紹介していきます。

第七中
ボランティアさんによる「POP作り」たくさん読んでください!



上巻分方小

みんなの力でわかりやすい図書館へ書架や本を大移動。新しい見出し札も入れて完成。



陶鎔小

本が探しやすくなりました。ボランティア、地域の皆さん、先生方の力で改造中。(ニコニコ!)



船田小

夏休み中に大掛りな本の整理を実施。先生たちが大活躍。熱心に本を選別中。



檜原中

図書委員の生徒の皆さん大活躍。オープンに向けて『力』になります。



清水小

ボランティアの皆さんによる、新しい本へのカバー(ブックコート)かけ。カバーをかけた後は、POPをつけて展示コーナーへ。





学校図書館ワンポイントアドバイス 2 : 表紙を見せよう!



檜原小学校 本棚

本の表紙をみせて展示することを『^{めん}面だし』といいます。見せ方によって、それまで手にされなかった本や、紹介したい本をより視覚的に引き付けることができます。『おすすめコーナー』だけでなく、書架の空いたスペース等にも、本の表紙を見せて置いてみるとよいでしょう。

簡単な内容紹介(POP)と一緒に書いておくと、より効果的です。すぐできる、ちょっとした工夫で、こどもたちに本の世界をひろげてあげましょう。POPについては、次号で紹介します。

ミニ情報

独立行政法人国際協力機構ばくら地球調査隊

環境問題全般について調べられます。

<http://www.jica.go.jp/kids/pages/index.html>

日本経団連 キッズコーナー

いろいろな会社のホームページをさがせます。

<http://www.keidanren.or.jp/kids/index.html>

〈としよえもんの訪問インタビュー〉

宇津木台小学校・^{とみどころ}富所 ^{ひろし}博 校長先生

学校経営の重点課題のひとつとして

昨年、図書室を大幅にリニューアルなさいましたが。

きっかけは学童クラブの校内設置でした。第二図書室と共用することにして、「子どもたちが息抜きできる空間・くつろいで本に親しめる部屋」をコンセプトに整備することになりました。その後の経過で図書室として専有できることになり、『本の森』というネーミングも得て、豊敷きや用務主事さん手作りのベンチも備え付けられ、名実ともに整備されました。

図書担当の先生が一人では大変でしょうね。

かねてより従来の図書係では、図書ボランティアへの対応の面でも難しいと感じていました。そこで22年度より校務分掌上、「読書指導委員会」として7名の職員を配置して充実を図りました。

『本の森』の整備でもこの部署が意欲的に働き、他地区の先進校見学や教育センター学校図書館担当のアドバイス等を通して、学校図書館運営全体の質を大幅に向上させることができました。そのように図書館を重視されるのはどんな理由からでしょうか？

本校では「聴き合い学び合う授業の創造」をテーマに校内研究を進めていますが、その中で「児童の言語能力を高める」ことの重要性をますます感じるようになりました。したがって読書能力や図書館活用能力を育てるために読書環境を整備することが急務であると考えました。先生方の行動力や図書ボランティア活動の蓄積が追い風となって、機運も高揚したと思います。

今後の抱負をお聞かせください。

来年2月23日に公開研究会を予定しています。これを当座の目標として、学校図書館活用の状況を検証するためにも、児童図書委員会活動の活性化や、先生によるブックトークや図書ボランティアによる読み聞かせの拡充を促していきたいと考えています。

ありがとうございました。微力ながら私たちもお手伝させていただきます。

(H23,8,18 取材)



平成23年第2号

10月5日発行

(通巻6号)

八王子市教育センター 学校図書館担当

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

住所 八王子市散田町2-37-1

教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp

『としよえもん』キャラクターデザイン: 宇津木台小学校 平井 忍 先生